

## 産地情勢 (2023.2.2)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 125.1 百万トンに 0.8 百万トン減少させた。(1月13日)

クロープ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)	8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サリナ・コーン (冬作)	1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

収穫は 5% (平年 6%) 進捗した。(2月1日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 152.7 百万トン (前年 125.5 百万トン) に 0.8 百万トン減少させた。単収見通しは 4ヶ月連続で引き下げている。(1月13日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

作付けは 94% (平年 94%) まで進捗した。作付適期は普通 1月末で終了する。

主産地はこの 2ヶ月間非常に乾燥した気候が続いている。(1月27日)

ロザリオ穀物取引所は、生産見通しを 10 百万トン引き下げ、45 百万トンとした。(1月26日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

作付けは 99% (平年 100%)。作付適期は先週で終了した。(1月27日)

ブエノスアイレス穀物取引所は、生産見通しを 7 百万トン引き下げ、41 百万トンとした。(1月25日)

	作付期	着鞘期	収穫期

例年のクロープ カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月
---------------	----------	----	------

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測 (1月12日)

とうもろこし

(百万トン)

	2020/21	2021/22	2022/23
米国 (9-8月)	358.5	382.9	348.8
ブラジル (3-2月)	87.0	116.0	125.0
アルゼンチン (〃)	52.0	49.5	52.0

- ・米国は 2022/23 年度の収穫面積が減少したが、輸出需要も減少した為期末在庫率は 8.93%に 0.02%回復した。
- ・アルゼンチン・ブラジルの 2022/23 年度が生産量が 3 百万トン及び百万トン減少した。

大豆

(百万トン)

	2020/21	2021/22	2022/23
米国 (9-8月)	114.8	121.5	118.3
ブラジル (2-1月)	139.5	129.5	153.0
アルゼンチン (4-3月)	46.2	43.9	45.5

- ・米国は 2022/23 年度が生産量も輸出需要も減少した為、期末在庫率は 4.82%に 0.16%減少した。
- ・アルゼンチンの 2022/23 年度が生産量が 4 百万トン減少したが、ブラジル 2021/22 年度が生産量が 2.5 百万トン、2022/23 年度が生産量が百万トン増加した。

\*北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)